

平成29年度ちゅーりっぷハウス自己評価まとめ

重点目標1. 保育理念・保育方針・園目標・指導計画を共有し組織全体で保育の質向上に取り組む。

具体的な取り組み

- ・指導計画に関しては翌月の計画を立てるための話し合いを行い、共通認識のもと保育ができた。
- ・保育会議の回数が増え、毎月の指導計画や週案に反映されるようになった。

改善点

- ・園独自の「全体計画」をスタッフ全員で話し合い作り上げていく。

重点目標2. 1・2歳児の発達の特性を踏まえ保育内容を充実していく。

具体的な取り組み

- ・市や区の研修に積極的に参加後、定例会で報告し共有することができた。
- ・リズムや1, 2歳児保育の実地研修に参加したことで刺激を受け取り入れることができた。
- ・キッズと合同の園内研修で、ケースを出し合い、様々な保育者の保育観を共有できた。

改善点

- ・保育者が手や口を出し過ぎないように「子どもが主体的に遊べる保育」を考えていく。

重点目標3. 保護者、家庭支援及び連携園や小規模保育園と連携して子育て支援に取り組む。

具体的な取り組み

- ・保護者との会話や連絡ノート、個人面談などを通して信頼関係を築くことができた。
- ・連携園が増え、交流できる距離にある近隣の施設とは交流ができた。
- ・近隣の施設とは園長同士の情報交換ができ、スタッフに情報提供ができた。

改善点

- ・小規模園同士の交流ができなかった。負担にならない程度に交流していきたい。

重点目標4. 専門的知識や倫理観に裏付けられた判断や対応ができるようにする。

具体的な取り組み

- ・研修などで専門的な知識を学び、また日々の体験を通して保育士としての自覚や責任が身に付いてきている。その場に応じた判断や対応ができるスタッフが増えている。

改善点

- ・中堅以上のスタッフは専門知識を生かした判断や対応ができるようにしていく。

重点目標5. 防災対策に全員で取り組む。

具体的な取り組み

- ・毎月交代で、171の災害伝言ダイヤルの体験ができた。
- ・園内研修で非常食を作って食べる体験と共に、非常食や水の補充もできた。

改善点

- ・毎月定例会の中で前月の反省を行い翌月につなげていく。

<平成30年度重点目標>

- ・全員で全体計画を作成し、子どもが主体的に行動できるよう保育者同士が共有し合いながら保育の質向上に努める。
- ・保育者の専門性を生かし、地域に開かれた保育所を目指す。
- ・保護者が子育ての喜びや楽しさを実感できるよう、保育者の知識を生かし支援していく。
- ・食育を通して「食べる楽しさ」「食べる大切さ」を伝え、食を営む力を育てる。
- ・防災対策に全員で取り組み、災害へ備える。